



暁星国際小学校

Gyosei International Primary School

私立小学校受験に向けて 本校からのメッセージ



はじめに

テーマ「我が子にどのような環境の小学校の選択をすればよいかを
迷われるご家庭向けに私立小学校教育の良さを伝える」

こんにちは。本日は、標記のテーマに基づき、皆様がお子様のため
の小学校を決定する際に考えるべきことについてお話しいたします。

まず、公立小学校にすべきか私立小学校にすべきかとの選択決定が
必要になると思います。公立と私立とでは、各学校の特徴と費用に大
きな違いがあります。それぞれについてお話しいたします。





本校の5つの特徴

暁星国際小学校の特徴は以下の通りです。

- 1 カトリックのミッションスクールであること。
- 2 語学教育を重視していること。
- 3 小中高12年間一貫教育のプログラムが展開されていること。
- 4 通学者が千葉県だけでなく、都内と神奈川からも通学していること。
- 5 寮があること。



特徴 1 カトリックの学校であること



5月のマリア祭

公立にも地域の特質や学校の伝統に従ってそれぞれの特徴がありますが、私立学校には公立学校にはない独特の特徴があります。そのひとつにそれぞれの小学校の宗教や創立者の設立理念があります。仏教系の学校もあれば、カトリックの学校やプロテスタントの学校、また、宗教系でなくとも創立者の建学の精神を守っている伝統のある学校もあります。

この中で、暁星国際小学校はカトリックのミッションスクールという特徴をもっています。このことから、本校には「宗教」という授業があります。また、全校朝礼で聖書のお話を聞いたり、日々のお祈りをしたり、年間行事の中にも宗教的な行事があります。カトリックの学校は、これを通して、教科の勉強や運動だけでなく、「こころ」について教えようとしています。さらに言えば、公立学校にも「道徳」の授業がありますが、私たちは「道徳」の授業に加えて、「道徳」で学ぶことのさらに根源的な部分を見るよう教えています。例えば、「道徳」の授業で＜嘘をつくのは悪いからやめよう＞という単元の学習をしたら、その後に、＜では、人間はなぜ嘘をつくのか＞、＜では、そうすればよいのか＞ということについて考えてもらいます。

また、宗教の授業の他にも、朝、昼食の前後、帰りにそれぞれのお祈りを唱えます。お祈りを通じて、子供たちは、神に感謝し、罪の許しを願い、人々の御加護を願い、最後に自分の願いを伝えることによって、傲慢にならず、この世の主は常に神であり、謙虚に生きるべきであることを学びます。

学校行事には、マリア祭とクリスマスがあります。私たちはマリア様を崇敬し、5月の聖母マリアの月には全児童一緒にマリア様へ感謝し、ご加護のお取次ぎを願うお祈りをしています。クリスマスには、全校で御ミサにあずかります。

特徴 2 語学教育の重視

暁星国際小学校には、レギュラーコースとインターナショナルコースの2つのコースがあります。どちらのコースでも、バイリンガルになることを目指しています。

インターナショナルコースでは、入学時から日本語と英語とのバイリンガル児童を対象としたカリキュラムを組んでいます。このため、授業の大部分は最初から英語で進められます。もちろん、私たちの学校はインターナショナルスクールではなく、日本の文科省下の学校ですから、日本語で行う授業もあります。また、文科省学習指導要領に基づき、日本人としてのアイデンティティを育む教育も行います。しかし、学校での生活言語は英語がメインになります。

レギュラーコースでは、学校での生活言語は日本語になりますが、英語は毎日1時間、主に英語だけを使って学習します。外国語以外の授業は日本語で行われます。

また、両コースとも、本校の伝統としてフランス語を教えており、週3時間の授業があります。



インターナショナルコース
入学式して間もない1年生



レギュラーコース
5年生の英語

特徴 3 小中高12年間一貫教育



学園全景



暁星国際中学校・高等学校

本校は、同じ敷地内に小中高の校舎があります。このため、小中高間での連絡を取りやすいことが大きな特徴です。中学、高校にも小学校と同じように、レギュラーコースとインターナショナルコースがあります。

インターナショナルコースの場合、6年生になると、大部分の児童は英語、算数、理科、社会等の教科書で学んだ語彙を駆使して話すようになりますが、書くことについては、まだまだ課題が残ります。中学のインターでは、このような生徒を学年によらず3つのグループに分け、Level Englishという科目名で、「文法」と「読み、書き」の授業を毎日各1時間教えています。そして、中学で英文をきちんと書けるようになると、高校で、よりアカデミックな作文(Essay)や発表(Presentation)の練習をし、英語で授業する早稲田大学や上智大学の国際教養学部、または海外の大学へ出願するためのTOEFLやSATの準備をするようにしています。英語、数学以外のSAT用教科の勉強も高校3年間の中で行います。ちなみに、インターの2020年3月卒業生は12名で、このうち、5名が早稲田大学、5名が上智大学、1名がICU、1名が音楽大学に合格しました。また、1名はカナダのトロント大学に入学しました。尚、本校はIBに参加していませんが、本校の卒業資格で世界中のどの大学にも出願することができます。

レギュラーコースも基本的には中学高校の「特進進学コース」につながっています。小学校では中高で伸び悩みをしないように、基礎基本の徹底に力を入れています。ちなみに、今春の高校3年卒業生の進路は、有名校では、東大、京大、東工大、北大、千葉大、埼玉大、早稲田、慶応、上智、理科大などです。また、この中には、小、中ではインターに在籍し、高校から特進コースに移った生徒で、防衛医科大学と高知大学の医学部に合格した卒業生もいました。

このように、12年間の中で進路に応じてコース変更することも可能です。中学からインターにコース変更する生徒もいれば、医学部を目指して、中3でインターから特進に移る生徒もいます。本学園の医学部進学プログラムでは、中3の2学期から医学部進学を目指した数学が始まります。

特徴 4 通学区域が多岐に渡っていること

今年度の通学者の中には、木更津周辺だけでなく、千葉市38名、浦安市19名、川崎市29名、横浜市33名、東京都38名の通学者がいます。アクアライン経由のスクールバスを運行しているため、対岸の子供たちも1時間で通学することができるというメリットがありますが、子供たちの交友関係が地元密着ではなくなるという特徴も出てきます。

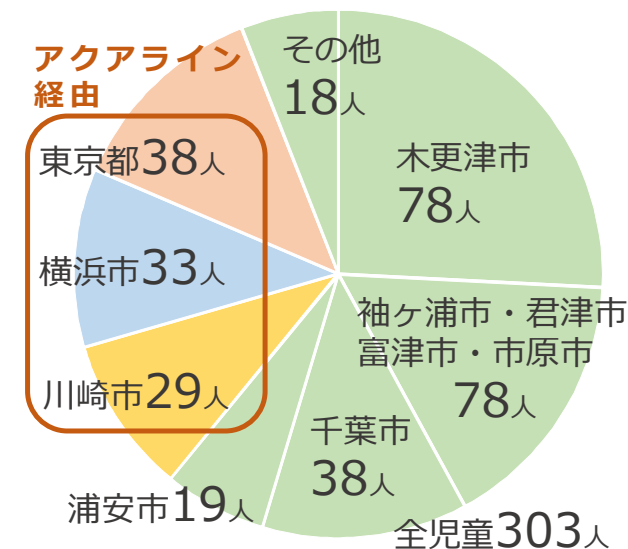
2020年度地域別通学状況



下校時、バスに向かう子どもたち



横浜、川崎、品川、新浦安、千葉
各方面に向かいます

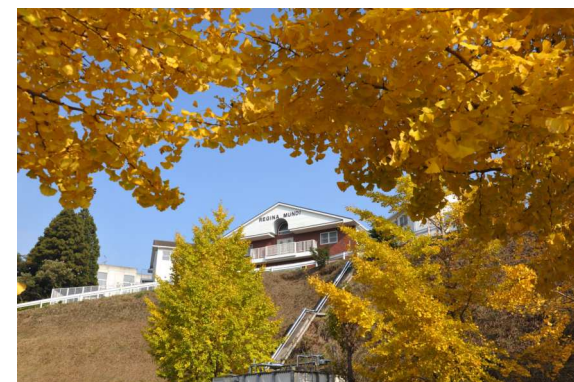


特徴 5 寮があること

同じ敷地内に男子寮と女子寮があります。小学生のうちには家庭で過ごし、中高では寮で遅くまで勉強してほしい、と思っておりますが、海外勤務等の事情のある場合に限り、小学生でも寮に入れています。ただし、小学生男子寮については、今後の募集は行ないません。



男子寮のある管理棟



女子寮



費用について

本校の学費は通学区域により 3 種類に分かれます。

木更津バス利用者の学費は年額717,000円で、高速バス利用者の学費は年額970,000円、寮生の学費は年額1,675,200円です。入学時はこの他に、入学金200,000円、入学時施設設備費100,000円の納入が必要です。学費は一括払いだけでなく、3期に分けての分納も可能です。また、児童諸費用として「お小遣い口座」に常に90,000円の残額を置いていただき、検定料やドリル代、校外学習費等を徴収させていただきます。残額は卒業時に返金されます。

以上、皆様の学校選びのお役に立つと思われる事柄を説明させていただきました。詳しくは、ご遠慮なく直接お問い合わせください。

暁星国際小学校教頭 丸山



学校の自然環境や児童の生活の様子



校舎は季節によって彩りが変わる
草木に囲まれています



休み時間は広い土の
グラウンドで遊びます



自然の中、子どもたちは
昆虫採集もよく行ないます



レギュラーコース1年生の
フランス語の授業の様子



雨の日は上級生が下級生の
教室に行き一緒に遊びます

今年より開始 理科学習発表会

子どもたちの科学の芽を伸ばすため、3学年以上の児童全員が日頃の授業で学んだことの応用実験や、自ら課題を見つけて取り組んだことをポスターにします。

発表会当日、ポスターの前にて説明します。インターナショナルコースは英語で製作・発表します。



暁星国際小学校

Gyosei International Primary School

〒292-8565千葉県木更津市矢那1083

TEL 0438-52-3851

E-mail elementary@gis.ac.jp

FAX 0438-52-3856

ホームページ <http://primary.gis.ac.jp/>